

1 ■ W218040001<Pre 医中誌 >

我が国のリハビリテーション医療の変遷

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 (1343-8441) 18 巻 3 号 Page S1 (2014.12)

論文種類 : 会議録

2 ■ 2022048022

【追悼 石川誠先生】

訪問リハビリテーションの歴史と訪問療法士への期待

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : 日本訪問リハビリテーション協会機関誌 (2424-0451) 9 巻 1 号 Page34-47 (2021.11)

論文種類 : 解説 / 特集

3 ■ 2021246828

【介護報酬】

介護報酬改定 訪問リハビリテーションに望むこと

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : 訪問リハビリテーション (2185-7911) 11 巻 2 号 Page126-135 (2021.06)

論文種類 : 解説 / 特集

4 ■ 2021031065

訪問リハビリテーションについて

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526) 57 巻特別号 Page S250 (2020.07)

論文種類 : 会議録

5 ■ 2021031055

チームで取り組むリハビリテーションケア

up to date- チームをどうつなぎチーム力を高めるか 高次脳機能障害を中心に 回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーション医療専門職の組織編成

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526) 57 巻特別号 Page S238 (2020.07)

論文種類 : 会議録

6 ■ 2021029745

地域包括ケアとリハビリテーション医療 地域包括ケアと地域リハビリテーションとリハビリテーション医療

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : 日本医療マネジメント学会雑誌 (1881-2503) 21 巻 Suppl. Page147 (2020.10)

論文種類 : 会議録

7 ■ 2020163504

リハビリテーションマインド

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : 回復期リハビリテーション (2187-5839) 18 巻 4 号 Page54-55 (2020.02)

論文種類 : 会議録

8 ■ 2020150469

地域包括ケアとリハビリテーション医学

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526) 56 巻秋季特別号 Page S134 (2019.10)

論文種類 : 会議録

9 ■ 2020040008

地域包括ケア時代の人材育成

Author : 石川 誠 (輝生会) , 山田 隆司

Source : 病 院 (0385-2377) 78 巻 10 号 Page703-708 (2019.10)

論文種類 : 座談会

DOI : 10.11477/mf.1541211049

10 ■ 2020014419

リハビリテーション医療における診療報酬上の課題

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526) 56 巻特別号 Page S494 (2019.05)

論文種類 : 会議録

11 ■ 2019263087

「情熱」を推進力として改革を積み重ねる回復期リハ病棟

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : 回復期リハビリテーション (2187-5839) 18 巻 1 号 Page18-19 (2019.05)

論文種類 : 会議録

12 ■ 2019160186

これからの回復期リハビリテーション医学・医療：質と量の観点から 回復期リハビリテーション病棟のこれまでとこれから

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526) 55 巻秋季特別号 Page S181 (2018.10)

論文種類 : 会議録

13 ■ 2019160165

地域医療構想と地域包括ケアにおけるリハビリテーション医療

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526) 55 巻秋季特別号 Page S161 (2018.10)

論文種類 : 会議録

14 ■ 2019049351

【回復期リハビリテーション病棟の質 -ICF に基づいた作業療法】 回復期リハビリテーション病棟の変遷

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : 作業療法ジャーナル (0915-1354) 52 巻 12 号 Page1216-1222 (2018.11)

論文種類 : 解説 / 特集

DOI : 10.11477/mf.5001201499

15 ■ 2018352873

リハビリテーション医療における倫理

Author：石川 誠（輝生会）

Source：The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526) 54 巻 秋季 特別号 Page S70 (2017.09)

論文種類：会議録

16 ■ 2018316770

【2018 年同時改定 " 完全攻略 " マニュアル [II]

(Part 1) 2018 年同時改定への戦略と対策 回復期・リハビリの改定と対策

Author：石川 誠（輝生会）

Source：保険診療 (0385-8588) 73 巻 7 号 Page11-14 (2018.07)

論文種類：解説 / 特集

17 ■ 2018240825

【大きく変わる医療ニーズへの体制整備を - 平成 30 年医療・介護同時改定】平成 30 年度診療報酬改定について

Author：石川 誠（輝生会）

Source：回復期リハビリテーション (2187-5839) 17 巻 1 号 Page33-39 (2018.05)

論文種類：解説 / 特集

18 ■ 2018240819

【回復期リハ病棟の理想郷を考える】

診療報酬・介護報酬同時改定を見据えて 今後のあるべき姿を考える 「回復期リハ病棟協会からの提言」 回復期リハ病棟の足跡 創設準備期から現在まで

Author：石川 誠（輝生会）

Source：回復期リハビリテーション (2187-5839) 17 巻 1 号 Page14-17 (2018.05)

論文種類：解説 / 特集

19 ■ 2018080614

【介護予防へのリハビリテーション・マインド(心)と医療の関与】地域リハビリテーション支援事業が介護予防に果たす役割

Author：石川 誠（輝生会）

Source：介護福祉 108 号 Page11-17 (2017.12)

論文種類：解説 / 特集

20 ■ 2018079497

【知っておきたい！これからの生活期リハビリテーション】

訪問リハビリテーション 訪問リハビリテーションにおける医師の役割

Author：石川 誠（輝生会）

Source：MEDICAL REHABILITATION (1346-0773) 217 号 Page22-27 (2017.12)

論文種類：解説 / 特集

Abstract：在宅医療は 1986 年に往診とは異なる形で訪問診療として制度化され、1992 年には居宅等も医療を行う場として法的に認められた。一方、PT・OT・ST による訪問サービスは、1988 年の寝たきり老人訪問理学療法指導管理料に始まり、2000 年の介護保険施行により、現在では、

PT・OT・ST による訪問サービスは医療保険と介護保険の 2 種類がある。医療保険では 1 単位 20 分、介護保険では 1 回 20 分と規定され、病院・診療所・老人保健施設からの訪問と訪問看護ステーションからの訪問の 2 種類があり、合計 4 種類の訪問が存在するため複雑となっている。量的には 2017 年 2 月には 29.0 万人に対して 295.0 万回の訪問が実施され、この 10 年間で受給者数・訪問回数ともに約 3.5 倍と飛躍的増加を示した。このため質が問われることになり、質の向上には、医師による総合的な診察、予後予測を含めた医師による患者・家族に対する十分な説明、リハビリテーション会議の開催が必要とされている。（著者抄録）

21 ■ 2017390498

回復期リハビリテーション病棟の現状と課題

多職種連携のモデル病棟として

Author：石川 誠（輝生会）

Source：リハビリテーション連携科学 (1880-7348) 18 巻 1 号 Page67 (2017.06)

論文種類：会議録

22 ■ 2017302862

【脳血管障害 診療のエッセンス】

リハビリテーション 生活（維持）期リハビリテーション

Author：石川 誠（輝生会）

Source：日本医師会雑誌 (0021-4493) 146 巻 特別 1 Page S305-S309 (2017.06)

論文種類：解説 / 特集

23 ■ 2017286289

【レベルアップ！スピードアップ！フォローアップ！】

フォローアップ・ザ・回リハ病棟

Author：石川 誠（輝生会）

Source：回復期リハビリテーション (2187-5839) 16 巻 1 号 Page16-19 (2017.05)

論文種類：解説 / 特集

24 ■ 2017178262

回復期リハと生活期（維持期）リハの現状と課題

Author：石川 誠（輝生会）

Source：リハビリテーション科診療近畿地方会誌 (1347-3956) 15 号 Page65 (2015.12)

論文種類：会議録

25 ■ 2017172132

リハビリテーション医学の理念 回復期リハビリテーションの方向性

Author：石川 誠（輝生会）

Source：The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526) JARM2016 Page S221 (2016.06)

論文種類：会議録

26 ■ 2017172128

回復期リハビリテーション病棟の現状と課題

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526) JARM2016 Page S216 (2016.06)

論文種類 : 会議録

27 ■ 2017129282

【リハビリテーション医学の実用と進歩】

地域リハビリテーション

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : BIO Clinica (0919-8237) 32 巻 1 号 Page47-50 (2017.01)

論文種類 : 解説 / 特集

Abstract : 地域リハビリテーションとは、本来、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハの立場から協力し合って行う活動のすべてであり、厚労省が推進する地域包括ケアとほぼ同意語である。ここでは地域リハを狭義の意味に捉え、在宅生活期リハの量的・質的整備状況を踏まえ最も重点的課題は医師の関与であると考えられる。すなわち、医師には、各地域における急性期リハ～回復期リハ～生活期リハの整備状況を十分に把握し、バランスのとれたリハ医療サービスの提供の采配を振るうことが求められているのである。(著者抄録)

28 ■ 2017128824

ICF の考え方とこれからの地域リハビリテーションのあり方

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : 日本在宅医学会雑誌 (1345-3777) 18 巻 1 号 Page31-32 (2016.10)

論文種類 : 会議録

29 ■ 2016398123

ICF の考え方とこれからの地域リハビリテーションのあり方

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : 日本在宅医学会大会・日本在宅ケア学会学術集会合同大会プログラム・講演抄録集 18 回・21 回 Page88 (2016.07)

論文種類 : 会議録

30 ■ 2016273620

【2016 年診療報酬改定の読解術 [I] ～2016 年改定への作戦会議～】

(Part1) 2016 年改定への戦略と対策 [上]

リハビリテーションの成果がきびしく問われる時代が続く

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : 保険診療 (0385-8588) 71 巻 6 号 Page17-20 (2016.06)

論文種類 : 解説 / 特集

31 ■ 2016236959

【リハビリテーション科専門医のロールモデルとリハビリテーションのエビデンス】

回復期リハビリテーション病棟をさらに進化させるために リハビリテーション科専門医に期待すること

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526) 53 巻 3 号 Page190-196 (2016.03)

論文種類 : 解説 / 特集

Abstract : 日本のリハビリテーション(以下,リハ)医療は人口の高齢化とともに発展し,2000 年に介護保険制度施行とともに回復期リハ病棟が創設された。その後,現在までにリハに関する診療報酬は改定ごとに变化したが,理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の国家資格保有者数の増加,回復期リハ病棟の増加などによりリハ医療は各地域に普及した。しかし,回復期リハ病棟における患者 1 人あたり疾患別リハの平均実施単位数は増加したが functional independence measure (FIM) 利得の変化は乏しく,回復期リハ病棟の質は医療機関間で大きな差があると指摘されることとなった。回復期リハ病棟を有する病院にリハ科専門医が勤務している病院は 2015 年 4 月の時点で 29.4% にすぎない。今後,回復期リハ病棟にはリハ科専門医の配置を必須とし,質の向上が期待される場所である。(著者抄録)

DOI : 10.2490/jjrmc.53.190

32 ■ 2016086281

高齢者におけるリハビリテーションの意義(第 20 回)

高齢者のリハビリテーション、その局面ごとの重要点と受け渡し方 高齢者の維持期リハビリテーション 在宅リハビリテーション

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : Geriatric Medicine (0387-1088) 53 巻 11 号 Page1203-1209 (2015.11)

論文種類 : 解説

33 ■ 2016075992

回復期リハのこれまでとこれから OT に期待すること

Author : 石川 誠 (輝生会), 中村 春基

Source : 作業療法ジャーナル (0915-1354) 50 巻 1 号 Page6-13 (2016.01)

論文種類 : 座談会

DOI : 10.11477/mf.5001200449

34 ■ 2015358930

【回復期リハビリテーション病棟 リハ医のリーダーシップ】

リハビリテーション医が回復期リハビリテーション病棟をさらに進化させるために 回復期リハビリテーション病棟が成し遂げたもの

Author : 石川 誠 (輝生会)

Source : 回復期リハビリテーション (2187-5839) 14 巻 2 号 Page24-25 (2015.08)

論文種類 : 会議録 / 特集

35 ■ 2015299376

リハビリテーション医が回復期リハビリテーション病棟をさらに進化させるために

回復期リハビリテーション病棟が成し遂げたもの

Author：石川 誠（輝生会）

Source：The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526) 52 巻 Suppl. Page S146 (2015.05)

論文種類：会議録

36 ■ 2014345147

回復期リハビリテーション病棟の歴史と展望

Author：石川 誠（輝生会）

Source：The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526) 51 巻 Suppl. Page S149 (2014.05)

論文種類：会議録

37 ■ 2014311835

**【最新臨床脳卒中学 [上]- 最新の診断と治療 -】
リハビリテーション 回復期リハビリテーション**

Author：石川 誠（輝生会）

Source：日本臨床 (0047-1852) 72 巻増刊 5 最新臨床脳卒中学 (上) Page672-677 (2014.07)

論文種類：解説 / 特集

38 ■ 2014297392

**【2014 年診療報酬改定 MAP[II] ～新点数による算定・請求
実例集～】(Part 1) 2014 年改定への戦略と対策 リハビリ
テーションに関わる 2014 年度診療報酬改定のポイント**

Author：石川 誠（輝生会初台リハビリテーション病院）

Source：保険診療 (0385-8588) 69 巻 7 号 Page18-21 (2014.07)

論文種類：解説 / 特集

39 ■ 2014260868

【脳卒中の作業療法 - 支援技術から他職種連携・制度の利用まで】(第 1 章) 脳卒中のリハとは 医療保険と介護保険のリハの変遷

Author：石川 誠（輝生会）

Source：作業療法ジャーナル (0915-1354) 48 巻 7 号 Page544-548 (2014.06)

論文種類：解説 / 特集

DOI：10.11477/mf.5001100532

40 ■ 2014069794

**【脳卒中リハビリテーション - 臨床の実際と最先端医療 -】
脳卒中リハビリテーションの医療制度**

Author：石川 誠（輝生会）

Source：脳と循環 (1341-8440) 19 巻 1 号 Page21-24 (2014.01)

論文種類：解説 / 特集

Abstract：2000 年から現在までの 13 年間、脳卒中のリハビリテーションは大きく変化した。その起点は、2000 年の介護保険制度施行および医療保険で回復期リハ病棟が創設さ

れたことに始まる。脳卒中のリハは時期別に急性期、回復期、維持期（生活期）に区分され、提供の場も入院・外来・訪問・通所・短期入所・入所などへと多様化し、医療保険と介護保険の両方からリハ医療サービスの提供が開始されるようになった。（著者抄録）

41 ■ 2014025935

【回復期リハビリテーション - チームにおける動き方 -】

回復期リハビリテーション病棟の使命

Author：石川 誠（輝生会）

Source：MEDICAL REHABILITATION (1346-0773) 162 号 Page1-6 (2013.10)

論文種類：解説 / 特集

Abstract：回復期リハ病棟は介護保険の施行と同時に 2000 年に診療報酬制度の特定入院料として創設された。その使命は、急性期病院から可能な限り早く受け入れ、集中的かつ総合的リハにより自宅復帰を推進し、介護保険における要介護者の増加を抑制することにある。量的整備に関しては、2013 年 8 月に全国に 1,198 病院、1,503 病棟、66,492 病床の届け出が確認され、人口 10 万人当たり病床数は 52.0 床となり、当初目的とした 50 床を超えるようになった。質的整備に関しては、診療報酬にて質の評価が導入され、重症患者の受け入れ、ADL の改善率、在宅復帰率などで 3 段階に区分されている。今後の課題は、人口 10 万人あたり 50 床以下の都道府県がなくなるように整備が推進されること、診療報酬の評価対象とはなっていない部分における質のさらなる向上に努めることである。（著者抄録）

42 ■ 2013271528

**脳卒中片麻痺のリハビリテーション ADL 回復の一步先へ
医療制度における課題**

Author：石川 誠（輝生会）

Source：The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526) 50 巻 Suppl. Page S163 (2013.05)

論文種類：会議録

43 ■ 2012287922

**【2012 年診療報酬改定 NAVI[II] ～プラス 0.004% の最大
活用法～】(Part1) 2012 年改定への戦略と対策 リハビリ
テーション病院の戦略と対策**

Author：石川 誠（輝生会）

Source：保険診療 (0385-8588) 67 巻 7 号 Page13-15 (2012.07)

論文種類：解説 / 特集

44 ■ 2011321005

今、理学療法士に何が求められているか 今後、社会から必要とされる専門職として何が必要か

Author：石川 誠（輝生会）

Source：理学療法学 (0289-3770) 38 巻 Suppl.3 Page26 (2011.08)

論文種類：会議録

45 ■ 2011302786

同時改定を見定めた課題と展望

Author：石川 誠（輝生会）

Source：全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会機関誌 (1349-6263) 10 巻 1 号 Page22-23 (2011.04)

論文種類：解説

46 ■ 2011035356

【拡大するリハビリテーション医療】

急性期から回復期リハビリテーションにおける病院の役割分担

Author：石川 誠（輝生会）

Source：病 院 (0385-2377) 69 巻 11 号 Page856-859 (2010.11)

論文種類：解説 / 特集

DOI：10.11477/mf.1541101815

47 ■ 2010235444

【2010 年診療報酬改定の読解術 プラス 0.19% を最大限に活用する方法】2010 年改定への戦略と対策 リハビリテーション医療機関の戦略と対策

Author：石川 誠（輝生会）

Source：保険診療 (0385-8588) 65 巻 6 号 Page28-30 (2010.06)

論文種類：解説 / 特集

48 ■ 2010205503

回復期リハビリテーション病棟の現状と課題

Author：石川 誠（輝生会）

Source：The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526) 47 巻 Suppl. Page S123 (2010.04)

論文種類：会議録

49 ■ 2009300808

【医療・介護ニューディール】【人員配置と経営収支】

初台リハビリテーション病院

Author：石川 誠（輝生会初台リハビリテーション病院）

Source：病院 (0385-2377) 68 巻 8 号 Page650-652 (2009.08)

論文種類：解説 / 特集

DOI：10.11477/mf.1541101507

50 ■ 2003096561

介護保険とリハビリテーション 介護保険とリハビリテーションサービス 現状と課題, 今後の展開

Author：石川 誠（輝生会初台リハビリテーション病院）

Source：リハビリテーション研究 112 号 Page23-27 (2002.09)

論文種類：解説 / 特集